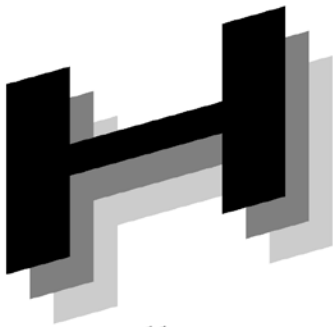




Japanese



Association of



Healthcare



Information



Systems Industry

J A H I S  
病理診断レポート  
構造化記述規約  
Ver. 1.0

2015年12月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会  
医療システム部会 検査システム委員会

# JAHIS 病理診断レポート構造化記述規約 Ver. 1.0

## まえがき

医療現場において、診療記録、検査報告書、診療情報提供書、各種サマリ等多くの診療文書が使用されている。病理・臨床細胞部門において発生する多くの診療文書は、従来紙上で記述されるか、ワープロソフトや各ベンダーの独自形式での電子化あるいは PDF といった形式で作成されていることが多かった。ICT 技術の発展と共にさらに電子的な情報共有によりそれら診療文書の情報を治療に活用したり、さらには IT 技術を利用することで人的ミスによる医療事故を未然に防止したりすることへの期待が高まっている。この人的ミスの原因には、診療情報や検査結果が対象部門に十分に伝わらなかったため、それらが適切な治療に結びつかなかったことが含まれる。これらについて、標準化された医療情報交換により診療部門間及び医療機関間の正確な情報連携を実現し、システム間の情報連携がスムーズで確実に行えることが期待されてきた。

これらに対応するため HL7 CDA (Clinical Document Architecture) による実装も試みられているが、CDA による記述の裁量範囲が広いため、同じような目的の診療文書が異なった仕様で実装されてしまう可能性が考えられる。そのため、共通であるべき情報は可能な限り共通仕様としてまとめ、共通の考え方で実装することを目的に規約共通編（「JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver. 1.0」）が規定された。

これらをふまえ、病理診断レポートについても規約共通編の内容を精査した上で、国内 (Realm=JP) における病理診断レポート固有の仕様をとりまとめ、規約共通編と組み合わせて利用することを前提に本規約を作成した。

医療の ICT 化に期待された様々な有効性を実現するためにお役立て戴くことを期待している。

2015年12月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会  
医療システム部会 検査システム委員会

### << 告知事項 >>

本規約は関連団体の所属の有無に関わらず、規約の引用を明示することで自由に使用することができるものとします。ただし一部の改変を伴う場合は個々の責任において行い、本規約に準拠する旨を表現することは厳禁するものとします。

本規約ならびに本規約に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本規約作成者は何らの責任を負わないものとします。ただし、関連団体所属の正規の資格者は本規約についての疑義を作成者に申し入れることができ、作成者はこれに誠意をもって協議するものとします。

# 目 次

1. 病理診断レポート概要.....	1
1.1 本規約と規約共通編の位置付けについて.....	1
2. 主な用語.....	1
3. CDA ヘッダ部.....	2
3.1. CDA ヘッダ属性部.....	2
3.1.1. 固有の制約.....	2
3.2. ドキュメントヘッダ部.....	3
3.2.1. 固有の制約.....	3
4. CDA ボディ部.....	6
4.1. セクション概要.....	6
4.2. セクション定義.....	8
4.2.1. 外部参照 External Reference.....	8
4.2.2. 現病歴 History of Present Illness.....	9
4.2.3. 既往歴 History of Past Illness.....	10
4.2.4. 家族歴 Family History.....	11
4.2.5. 社会歴 Social History.....	12
4.2.6. 感染症 Infection.....	13
4.2.7. 合併症 Complications.....	14
4.2.8. 主訴 Chief Complaint.....	15
4.2.9. 来院理由 Reason for Visit.....	16
4.2.10. 紹介理由 Reason for Referral.....	17
4.2.11. 検査理由 Reason for test or procedure.....	18
4.2.12. 中断理由 Reason stopped.....	19
4.2.13. バイタルサイン Vital Signs.....	20
4.2.14. 臨床情報 Clinical Information.....	21
4.2.15. 検体情報 Specimen Type.....	23
4.2.16. 肉眼所見 Macroscopic Observation.....	24
4.2.17. 顕微鏡所見 Microscopic Observation.....	25
4.2.18. 診断 Diagnosis.....	27
4.2.19. 採取法/検体処理法 Procedure Step.....	29
付録 - 1. 作成者名簿.....	30
改訂履歴.....	31

## 1. 病理診断レポート概要

本規約での病理診断レポートは、①一般病理診断レポート（組織診断レポート、細胞診レポート、術中迅速診断レポートなど）、②剖検レポートを対象としている。

### 1.1 本規約と規約共通編の位置付けについて

本規約では、規約共通編（JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver. 1.0）に記載されていない診療文書固有の仕様を定義した内容を記載しており、各診療文書で共通的に利用可能と思われる仕様は規約共通編を参照している。したがって、本規約と規約共通編を組み合わせ使用されたい。

## 2. 主な用語

規約共通編「3. 主な用語」を参照のこと。

また、本規約ではHL7CDA R2のデータ型、ボキャブラリ、RIM(Reference Information Model)、R-MIM(Refined Message Information Models)等詳細仕様記載を簡略化している。詳細仕様については以下HL7協会のURLで入手し、参照されたい。スキーマも入手可能となっている。ユーザ登録（無料）をすればダウンロード可能である。

[http://www.hl7.org/implement/standards/product\\_brief.cfm?product\\_id=7](http://www.hl7.org/implement/standards/product_brief.cfm?product_id=7)

### 3. CDA ヘッダ部

CDA ヘッダ部で記述すべき内容は、規約共通編に記載されている項目を共通使用する。

病理診断レポートでは規約共通編に定義された項目を選択し、場合により制約を加え内容を記述する。

本規約では、CDA ヘッダ部を文書の識別、種類などを特定する CDA ヘッダ属性部と、文書の記入者、受診者などの情報を記載するドキュメントヘッダ部として記載する。

#### 3.1. CDA ヘッダ属性部

作成される文書の識別、種類などを特定するための情報を記述する。

##### 3.1.1. 固有の制約

病理診断レポートにおける CDA ヘッダ属性部を記述する際の固有の制約について記載する。

###### (1) テンプレート ID

病理診断レポートを記述する際のテンプレート ID<ClinicalDocument.templateId>を以下に示す。

表 3-1 病理診断レポートテンプレート ID

項目名	テンプレート ID
一般病理診断レポート	2.16.840.1.113883.2.2.1.7.19
剖検レポート	2.16.840.1.113883.2.2.1.7.20

###### (2) ドキュメントコード

病理診断レポートを記述する際のドキュメントコード<ClinicalDocument.code>には以下の病理診断レポート種別に相当するコードを用いる。以下にドキュメントコードを示す。

表 3-2 病理診断レポートドキュメントコード例

コード	displayName (英表記)	項目名
11526-1	Pathology study	一般病理診断レポート
18743-5	Autopsy report	剖検レポート

※本例のコード体系には LOINC を使用

## 3.2. ドキュメントヘッダ部

文書の記入者、受診者、提供・対象などの情報を記述する。

### 3.2.1. 固有の制約

病理診断レポートにおけるドキュメントヘッダ部を記述する際の固有の制約について記載する。

#### (1) 患者情報

病理診断レポートにおける姓名の記載は、カナおよび漢字とする。

#### (2) ドキュメントヘッダ項目一覧

ドキュメントヘッダ情報については、他の文書類と内容、書式などを共通の定義として記載する。そのため本規約では共通の定義に従い病理診断レポートの特性にあった制約を行っている。

規約共通編にて記載のある項目について、病理診断レポートでの利用定義を示す。

表3-3 ドキュメントヘッダ部項目一覧 利用定義

項目	Card. ※1	説明
患者情報	R	recordTarget
ID	R	patientRole/id
住所	0	patientRole/addr
電話番号	N	patientRole/telecom
姓名（英語）	0	patientRole/patient/name @use="ABC"
姓名（漢字）	R	patientRole/patient/name @use="IDE"
姓名（カナ）	R	patientRole/patient/name @use="SYL"
性別	R	patientRole/patient/administrativeGenderCode
生年月日	R	patientRole/patient/birthTime nullFlavor 可
婚姻情報	N	patientRole/patient/maritalStatus
宗教	N	patientRole/patient/religiousAffiliationCode
後見人	N	patientRole/patient/guardian
生誕地	N	patientRole/patient/birthplace/place
対話言語の堪能レベル	N	patientRole/patient/languageCommunication
保険機関	N	patientRole/providerOrganization/name
作成者および作成システム	R	author
作成日時	0	time
作成者IDもしくはシステムのUID	N	assignedAuthor/id
作成者住所	N	assignedAuthor/addr
作成者電話番号	N	assignedAuthor/telecom
作成者名	R	assignedAuthor/assignedPerson/name ※2
作成システム	N	assignedAuthor/assignedAuthoringDevice
作成組織	N	assignedAuthor/representedOrganization
転記者	0	dataEnterer

	ID	N	assignedEntity/id
	住所	N	assignedEntity/addr
	電話番号	N	assignedEntity/telecom
	入力者	O	assignedEntity/assignedPerson
情報提供者 1		N	informant
	ID	N	assignedEntity/id
	住所	N	assignedEntity/addr
	電話番号	N	assignedEntity/telecom
	提供者	N	assignedEntity/assignedPerson
情報提供者 2		N	informant
	コード	N	relatedEntity/code
	関係者	N	relatedEntity/relatedPerson
保管組織		R	custodian
	組織 ID	N	assignedCustodian/representedCustodianOrganization/id
	組織名	R	assignedCustodian/representedCustodianOrganization/name
	電話番号	N	assignedCustodian/representedCustodianOrganization/telecom
	住所	N	assignedCustodian/representedCustodianOrganization/addr
受取人 (依頼科)		O	informationRecipient
	ID	N	intendedRecipient/id
	住所	N	intendedRecipient/addr
	電話番号	O	intendedRecipient/telecom
	受取人	R	intendedRecipient/informationRecipient
	受取組織	R	intendedRecipient/receivedOrganization
法的本書承認者		N	legalAuthenticator
	日時	N	time
	署名コード	N	signatureCode
	承認者	N	assignedEntity
本書記載内容責任者		O	Authenticator ドキュメント承認者。判読医などのレポート承認者。
	日時	N	time
	署名済みコード	N	signatureCode
	ID	N	assignedEntity/id
	住所	N	assignedEntity/addr
	電話番号	N	assignedEntity/telecom
	記載者	R	assignedEntity/assignedPerson
関係者		N	participant
	関係者	N	associatedPerson
オーダー情報		O	inFulfillmentOf
	オーダー番号	R	order/id
検査・診療等行為		N	documentationOf
	サービス イベントコード	N	serviceEvent/code
	実施日	N	serviceEvent/effectiveTime
	行為の補足	N	serviceEvent/performer/functionCode
	ID	N	serviceEvent/performer/assignedEntity/id
	住所	N	serviceEvent/performer/assignedEntity/addr

	電話番号	N	serviceEvent/performer/assignedEntity/telecom
	実施者	N	serviceEvent/performer/assignedEntity/assignedPerson
文書関係		0	relatedDocument
	ID	R	parentDocument/id
承諾		0	authorization
	ID	R	consent/id
	コード	N	consent/code
	ステータス コード	N	consent/statusCode
受診時情報		N	componentOf
	ID	N	encompassingEncounter/id
	コード	N	encompassingEncounter/code
	期間。例えば入院期間	N	encompassingEncounter/effectiveTime
	退院時の患者の傾向	N	encompassingEncounter/dischargeDispositionCode
	診察に対して第一の法的責任を負う者	N	encompassingEncounter/responsibleParty
	診察と直接関係のある 医師	N	encompassingEncounter/encounterParticipant
	診療施設	N	encompassingEncounter/location/healthCareFacility

※1 本規約での取り扱いは以下の通りである。

R=必須。0=任意。N=本規約では使用しない。(合意の下、関係システム内限定で使用可)

※2 author の中にどちらか1つのみ記述可能。共に記述する場合は author を2つ記述する。



## 4. CDA ボディ部

CDA ボディ部には、病理診断に関する情報が記述される。各情報はセクション単位で構成され、さらに、セクションは、任意のエントリから構成される。ボディ部定義については、規約共通編を参照されたい。

### 4.1. セクション概要

ボディ部には、部門共通セクション（外部参照、現病歴、既往歴、家族歴、社会歴、感染症、合併症、主訴、来院理由、紹介理由、検査理由、中断理由、バイタルサイン）と病理診断レポート固有セクション（臨床情報、検体情報、肉眼所見、顕微鏡所見、診断、採取法／検体処理法）から構成されている。

部門共通セクションは、一般的に病院情報システム（HIS）から転記される。

病理診断レポートで使用する各セクションの情報を以下に示す。

表4-1 セクション一覧表

セクション名	Card.	セクションコード	テンプレート ID
部門共通セクション			
外部参照 External Reference	0	LOINC=78239-1	2. 16. 840. 1. 113883. 2. 2. 1. 5. 41
現病歴 History of Present Illness	0	LOINC=10164-2	2. 16. 840. 1. 113883. 2. 2. 1. 5. 6
既往歴 History of Past Illness	0	LOINC=11348-0	2. 16. 840. 1. 113883. 2. 2. 1. 5. 18
家族歴 Family History	0	LOINC=10157-6	2. 16. 840. 1. 113883. 2. 2. 1. 5. 12
社会歴 Social History	0	LOINC=29762-2	2. 16. 840. 1. 113883. 2. 2. 1. 5. 16
感染症 Infection	0	LOINC=67188-3	2. 16. 840. 1. 113883. 2. 2. 1. 5. 10
合併症 Complications	0	LOINC=55109-3	2. 16. 840. 1. 113883. 2. 2. 1. 5. 73
主訴 Chief Complaint	0	LOINC=10154-3	2. 16. 840. 1. 113883. 2. 2. 1. 5. 4
来院理由 Reason for Visit	0	LOINC=29299-5	2. 16. 840. 1. 113883. 2. 2. 1. 5. 79
紹介理由 Reason for Referral	0	LOINC=42349-1	2. 16. 840. 1. 113883. 2. 2. 1. 5. 84
検査理由 Reason for test or procedure	0	LOINC=67098-4	2. 16. 840. 1. 113883. 2. 2. 1. 5. 85
中断理由 Reason stopped	0	LOINC=64882-4	2. 16. 840. 1. 113883. 2. 2. 1. 5. 86
バイタルサイン Vital Signs	0	LOINC=8716-3	2. 16. 840. 1. 113883. 2. 2. 1. 5. 45
病理診断レポート固有セクション			
臨床情報 Clinical Information	0	LOINC=22636-5	2. 16. 840. 1. 113883. 2. 2. 1. 5. 87
検体情報 Specimen Type	0	LOINC=667469-9	2. 16. 840. 1. 113883. 2. 2. 1. 5. 88
肉眼所見 Macroscopic Observation	0	LOINC=22634-0	2. 16. 840. 1. 113883. 2. 2. 1. 5. 89

顕微鏡所見 Microscopic Observation	0	LOINC=22635-7	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.90
診断 Diagnosis	R	LOINC=22637-3	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.91
採取法／検体処理法 Procedure step	0	LOINC=46059-2	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.92

## 4.2. セクション定義

本項では、各セクションについての定義を記載する。

### 4.2.1. 外部参照 External Reference

病理診断レポートに付加される添付ファイル（シェーマや描画ファイル）、検査データ（画像、結果 PDF など）、レポート（HTML 形式など）、への外部参照情報を記述する。各ブロック仕様については、規約共通編を参照されたい。

## 4.2.2. 現病歴 History of Present Illness

### (1) 概要

受診理由に関する経歴を記載する。現疾患あるいは治療を探ることに至る詳細を含むこと。

### (2) 説明ブロック仕様

表 4-2 現病歴 説明ブロック XML 仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.6"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.6	テンプレート ID
Code	1..1		
@code	R	10164-2	セクションコード
@displayName	R	History of Present Illness	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示す OID
@codeSystemName	0	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	現病歴	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

### (3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

### (4) XML 記述サンプル

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.6"/>
  <code code="10164-2" displayName="History of Present Illness"
codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
  <title>現病歴</title>
  <text>
    <paragraph>高血圧症。160/120mmHg </paragraph>
    <paragraph>治療中 120/85mmHg</paragraph>
    <paragraph>2010年5月25日～</paragraph>
  </text>
</section>
```

### 4.2.3. 既往歴 History of Past Illness

#### (1) 概要

過去の病歴、プロブレム、診断の経歴、現疾患あるいは治療を探るための直接可能性のあることの詳細を記載する。

#### (2) 説明ブロック仕様

表 4-3 既往歴 説明ブロック XML 仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.18"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.18	テンプレート ID
Code	1..1		
@code	R	11348-0	セクションコード
@displayName	R	History of Past Illness	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示す OID
@codeSystemName	0	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	既往歴	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

#### (3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

#### (4) XML 記述サンプル

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.18"/>
  <code code="11348-0" displayName="History of Past Illness" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC"/>
  <title>既往歴</title>
  <text>
    <paragraph>20歳時虫垂炎にて虫垂切除、46歳時子宮筋腫にて子宮全摘。</paragraph>
    <paragraph>OGOP</paragraph>
    <paragraph>LMP:2014年5月25日～</paragraph>
  </text>
</section>
```

## 4.2.4. 家族歴 Family History

### (1) 概要

患者の家族や近親者の病歴、健康状態、死因などの情報を記載する。

### (2) 説明ブロック仕様

表 4-4 家族歴 説明ブロック XML 仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.12"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.12	テンプレート ID
Code	1..1		
@code	R	10157-6	セクションコード
@displayName	R	Family History	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示す OID
@codeSystemName	0	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	家族歴	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

### (3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

### (4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.12"/>
  <code code="10157-6" displayName="Family History" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC"/>
  <title>家族歴</title>
  <text>
    <paragraph>父死亡</paragraph>
    <table border="1" width="100%">
      <thead>
        <tr>
          <th>疾病</th>
          <th>Status</th>
          <th>発症日</th>
        </tr>
      </thead>
      <tbody>
        <tr>
          <td>心筋梗塞</td>
          <td></td>
          <td>57歳</td>
        </tr>
        <tr>
          <td>糖尿病</td>
          <td></td>
          <td></td>
        </tr>
      </tbody>
    </table>
  </text>
</section>

```

## 4.2.5. 社会歴 Social History

### (1) 概要

患者の婚姻状態、人種、民族、宗教等のような健康リスクファクタ、職業上、個人的（ライフスタイル等）、社会的、環境に関する情報を記載する。

### (2) 説明ブロック仕様

表 4-5 社会歴 説明ブロック XML 仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.16"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.16	テンプレート ID
Code	1..1		
@code	R	29762-2	セクションコード
@displayName	0	Social History	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示す OID
@codeSystemName	0	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	社会歴	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

### (3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

### (4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.16"/>
  <code code="29762-2" displayName="Social History" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC"/>
  <title>社会歴</title>
  <text>
    <table>
      <thead>
        <tr>
          <th>社会歴</th>
          <th>内容</th>
          <th>期日・期間</th>
        </tr>
      </thead>
      <tbody>
        <tr>
          <td>喫煙</td>
          <td>1箱/日</td>
          <td>2005年5月5日～</td>
        </tr>
        <tr>
          <td>飲酒</td>
          <td>飲まない</td>
          <td>2005年5月5日～</td>
        </tr>
      </tbody>
    </table>
  </text>
</section>

```

## 4.2.6. 感染症 Infection

### (1) 概要

過去、現在の感染症に関する情報を記載する。

### (2) 説明ブロック仕様

表 4-6 感染症 説明ブロック XML 仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.10"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.10	テンプレート ID
Code	1..1		
@code	R	67188-3	セクションコード
@displayName	R	Infection	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示す OID
@codeSystemName	0	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	感染症	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

### (3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

### (4) XML 記述サンプル

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.10"/>
  <code code="677188-3" displayName="Infection" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC"/>
  <title>感染症</title>
  <text>
    <paragraph>結核</paragraph>
    <paragraph>2008年10月</paragraph>
  </text>
</section>
```



## 4.2.7. 合併症 Complications

### (1) 概要

過去、現在の合併症に関する情報を記載する。

### (2) 説明ブロック仕様

表 4-7 合併症 説明ブロック XML 仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.73"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.73	テンプレート ID
Code	1..1		
@code	R	55109-3	セクションコード
@displayName	R	Complications	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示す OID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	合併症	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

### (3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

### (4) XML 記述サンプル

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.73"/>
  <code code="55109-3" displayName="Complications" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC"/>
  <title>合併症</title>
  <text>
    <paragraph>腹膜炎</paragraph>
    <paragraph>2009年6月</paragraph>
  </text>
</section>
```

## 4.2.8. 主訴 Chief Complaint

### (1) 概要

主訴（患者自身の意見）としてのみ記載する。

### (2) 説明ブロック仕様

表 4-8 主訴 説明ブロック XML 仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.4"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.4	テンプレート ID
Code	1..1		
@code	R	10154-3	セクションコード
@displayName	R	Chief Complaint	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示す OID
@codeSystemName	0	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	主訴	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

### (3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

### (4) XML 記述サンプル

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.4"/>
  <code code="10154-3" displayName="Chief Complaint" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC"/>
  <title>主訴</title>
  <text>
    <paragraph>起立時のふらつき、歩行障害、複視。</paragraph>
  </text>
</section>
```

## 4.2.9. 来院理由 Reason for Visit

### (1) 概要

来院した理由を記載する。来院理由か主訴を別々に記載しても、結合して記載しても運用系で決定して良い。

### (2) 説明ブロック仕様

表 4-9 来院理由 説明ブロック XML 仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.79"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.79	テンプレート ID
Code	1..1		
@code	R	29299-5	セクションコード
@displayName	R	Reason for Visit	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示す OID
@codeSystemName	0	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	来院理由	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

### (3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

### (4) XML 記述サンプル

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.79"/>
  <code code="29299-5" displayName="Reason for Visit" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC"/>
  <title>来院理由</title>
  <text>
    <paragraph>首の痛みが1週間程続いているため。</paragraph>
  </text>
</section>
```

## 4.2.10. 紹介理由 Reason for Referral

### (1) 概要

紹介理由を記載する。

### (2) 説明ブロック仕様

表 4-10 紹介理由 説明ブロック XML 仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.84"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.84	テンプレート ID
Code	1..1		
@code	R	42349-1	セクションコード
@displayName	R	Reason for Referral	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示す OID
@codeSystemName	0	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	紹介理由	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

### (3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

### (4) XML 記述サンプル

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.84"/>
  <code code="42349-1" displayName="Reason for Referral" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC"/>
  <title>紹介理由</title>
  <text>
    <paragraph>〇〇病院からの紹介状。</paragraph>
  </text>
</section>
```

## 4.2.11. 検査理由 Reason for test or procedure

### (1) 概要

検査の理由を記載する。

### (2) 説明ブロック仕様

表 4-11 検査理由 説明ブロック XML 仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.85"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.85	テンプレート ID
Code	1..1		
@code	R	67098-4	セクションコード
@displayName	R	Reason for test or procedure	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示す OID
@codeSystemName	0	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	検査理由	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	M		セクションのテキスト記述文字列

### (3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

### (4) XML 記述サンプル

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.85"/>
  <code code="67098-4" displayName="Reason for test or procedure"
    codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
  <title>検査理由</title>
  <text>
    <paragraph>肝臓の腫瘍部生検よりカルチノイドと診断された症例です。</paragraph>
    <paragraph>食道原発を疑います。確定診断お願いします。</paragraph>
  </text>
</section>
```

## 4.2.12. 中断理由 Reason stopped

### (1) 概要

病理診断を中断した場合、その理由を記載する。

### (2) 説明ブロック仕様

表 4-12 中断理由 説明ブロック XML 仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.86"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.86	テンプレート ID
Code	1..1		
@code	R	64882-4	セクションコード
@displayName	R	Reason stopped	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示す OID
@codeSystemName	0	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
Title	1..1		
text()	R	中断理由	セクションタイトルを示す文字列
Text	1..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

### (3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

### (4) XML 記述サンプル

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.86"/>
  <code code="64882-4" displayName="Reason stopped" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC"/>
  <title>中断理由</title>
  <text>
    <paragraph>患者が死亡。</paragraph>
  </text>
</section>
```

#### 4.2.13. バイタルサイン Vital Signs

身長、体重、収縮期血圧、拡張期血圧の値を記述するために用いる。規約共通編において患者付帯情報での表現を認めているが、本規約では患者付帯情報への記述は許さないこととする。各ブロック仕様については、規約共通編を参照されたい。

## 4.2.14. 臨床情報 Clinical Information

### (1) 概要

臨床診断、臨床経過、等の患者の臨床情報を記載する。 依頼目的が記載されることもある。

### (2) 説明ブロック仕様

表 4-13 臨床情報 説明ブロック XML 仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.87"]			
templateId	0..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.87	テンプレート ID
code	1..1		
@code	R	22636-5	セクションコード
@displayName	R	Pathology report relevant history	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示す OID
@codeSystemName	0	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	臨床情報	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

### (3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

### (4) XML 記述サンプル (組織診編)

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.87"/>
  <code code="22636-5" displayName="Pathology report relevant history"
    codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
  <title>臨床情報</title>
  <text>
    <paragraph>膀胱癌</paragraph>
    <paragraph>膀胱癌に対し、膀胱尾部切除術を施行しました。</paragraph>
    <paragraph>盲腸癌に対し、回盲部切除術を施行しました。</paragraph>
    <paragraph>膵胆管合流異常症に対し、胆嚢摘出術を施行しました。</paragraph>
    <paragraph>悪性所見の有無等ご精査ください。</paragraph>
  </text>
</section>
```



## (5) XML 記述サンプル (細胞診編)

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.87"/>
  <code code="22636-5" displayName="Pathology report relevant history"
    codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
  <title>臨床情報</title>
  <text>
    <paragraph>甲状腺乳頭癌疑い</paragraph>
    <paragraph>甲状腺右用上極に径0.6x0.7cmの卵殻状石灰化を伴う腫瘤性病変有り、</paragraph>
    <paragraph>境界明瞭だが、形状はやや不整</paragraph>
    <paragraph>甲状腺乳頭癌を疑いFNACを2回施行。</paragraph>
    <paragraph>パニニコロー染色による甲状腺乳頭癌の鑑別のほど</paragraph>
    <paragraph>よろしくお願ひ申し上げます。</paragraph>
  </text>
</section>
```

## 4.2.15. 検体情報 Specimen Type

### (1) 概要

臓器名、採取方法、採取回数、等の検体情報を記載する。

### (2) 説明ブロック仕様

表 4-14 検体情報 説明ブロック XML 仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.88"]			
templateId	0..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.88	テンプレート ID
code	1..1		
@code	R	667469-9	セクションコード
@displayName	R	Specimen Type	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示す OID
@codeSystemName	0	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	検体情報	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

### (3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

### (4) XML 記述サンプル (組織診編)

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.88"/>
  <code code="667469-9" displayName="Specimen Type" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC"/>
  <title>検体情報</title>
  <text>
    <paragraph>膵臓膵体尾部 切除 1</paragraph>
    <paragraph>胆嚢 摘出 1</paragraph>
    <paragraph>回盲部 切除 1</paragraph>
  </text>
</section>
```

### (5) XML 記述サンプル (細胞診編)

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.88"/>
  <code code="667469-9" displayName="Specimen Type" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC"/>
  <title>検体情報</title>
  <text>
    <paragraph>甲状腺穿刺吸引</paragraph>
  </text>
</section>
```

## 4.2.16. 肉眼所見 Macroscopic Observation

### (1) 概要

腫瘍の大きさ、等を含む肉眼的に観察した所見を記載する。

### (2) 説明ブロック仕様

表 4-15 肉眼所見 説明ブロック XML 仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.89"]			
templateId	0..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.89	テンプレート ID
code	1..1		
@code	R	22634-0	セクションコード
@displayName	R	Pathology report gross observation	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示す OID
@codeSystemName	0	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	肉眼所見	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

### (3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

### (4) XML 記述サンプル (組織診編)

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.89"/>
  <code code="22634-0" displayName="Pathology report gross observation"
    codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
  <title>肉眼所見</title>
  <text>
    <paragraph>①胆嚢摘出材料(7.5x5.0cm)</paragraph>
    <paragraph> 肉眼的に壁肥厚は目立たず腫瘍性病変は認めない。 </paragraph>
    <paragraph>②回盲部切除材料(結腸 11.5x10.0cm+回腸 7.5x0.8cm) </paragraph>
    <paragraph> 肉眼的には口側断端より2.7cm、肛門側断端より8.2cmの</paragraph>
    <paragraph> 部位に2.3x1.2cm大の0-Isp病変が見られる。 </paragraph>
    <paragraph> 上記とは別に肛門側断端より2cmの部位に0.7cm大の</paragraph>
    <paragraph> 0-Ipポリープが認められる。 </paragraph>
    <paragraph>③膵体尾部切除材料(膵臓 10.5x4.2x0.8cm, 脾臓 11.3x5.8x1.8cm) </paragraph>
    <paragraph> 肉眼的に膵体部に直径約2.6cmの腫瘍が認められる。 </paragraph>
    <paragraph> 剖面上、腫瘍は黄白色調の境界不明瞭な病変として認められ、 </paragraph>
    <paragraph> 膵後方組織への浸潤が疑われる。 </paragraph>
  </text>
</section>

```

## 4.2.17. 顕微鏡所見 Microscopic Observation

### (1) 概要

顕微鏡観察での所見を記載する。

### (2) 説明ブロック仕様

表 4-16 顕微鏡所見 説明ブロック XML 仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.90"]			
templateId	0..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.90	テンプレート ID
code	1..1		
@code	R	22635-7	セクションコード
@displayName	R	Pathology report microscopic observation	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示す OID
@codeSystemName	0	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	顕微鏡所見	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

### (3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

### (4) XML 記述サンプル (組織診編)

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.90"/>
  <code code="22635-7" displayName="Pathology report microscopic observation"
    codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
  <title>顕微鏡所見</title>
  <text>
    <paragraph>検体は、胆嚢摘出材料、回盲部切除材料、臍体尾部切除材料。</paragraph>
    <paragraph>1.胆嚢、2.~6.回腸及び上行結腸(病変含む)、7.脾臓、8.~17.脾臓(病変含む)。</paragraph>
    <paragraph>①胆嚢摘出材料</paragraph>
    <paragraph>組織学的には粘膜上皮は殆どが自己融解しており評価が難しいが、</paragraph>
    <paragraph>残存する上皮の異型性は乏しい。</paragraph>
    <paragraph>部分的にはRokitansky-Aschoff洞の形成がみられ、固有筋層の軽度肥厚、</paragraph>
    <paragraph>漿膜下組織の線維化及び粘膜内を主体とした軽度の慢性炎症細胞浸潤を</paragraph>
    <paragraph>伴っている。軽い慢性胆嚢炎の像。悪性所見はない。</paragraph>
    <paragraph>②回盲部切除材料</paragraph>
    <paragraph>組織学的に、0-Isp病変では高分化型管状腺癌(tub1)が見られる。</paragraph>
    <paragraph>癌は一部で粘膜下層表層にわずかに浸潤している(粘膜筋板下縁から</paragraph>
    <paragraph>最大1.1mmまで浸潤)。リンパ管侵襲、静脈侵襲及び神経浸潤は見られない。</paragraph>
    <paragraph>筋層外脂肪組織内に癌巣は明らかではない。</paragraph>
    <paragraph>簇出像は観察されない(Grade1相当)。</paragraph>
    <paragraph>上行結腸lpポリープでは低異型度管状腺腫が見られる(#6)。</paragraph>
    <paragraph>いずれの病変も断端陰性。</paragraph>
  </text>
</section>

```

```

<paragraph>③腓体尾部切除材料</paragraph>
<paragraph>組織学的には、腓体部の2.6x2.0x1.7cmの範囲において、淡明な胞体を</paragraph>
<paragraph>もつ高円柱状からなる腫瘍細胞が、線維化や炎症細胞浸潤を伴いながら、</paragraph>
<paragraph>管状、不整管状、小型腺管状に増殖している。</paragraph>
<paragraph>中分化～高分化型の管状腺癌の像。</paragraph>
<paragraph>リンパ管侵襲は軽度、静脈侵襲は中等度、腓内神経浸潤は中等度に見られる。</paragraph>
<paragraph>腫瘍は腓後方組織に浸潤しており、足側方向では、中結腸動脈や下腸管膜</paragraph>
<paragraph>静脈周囲をとり囲むように広がっている。</paragraph>
<paragraph>#15,17で下腸管膜静脈の外膜～中膜に浸潤が認められるが、規約で言う</paragraph>
<paragraph>大血管には相当せずPV(-)とする。</paragraph>
<paragraph>腓前方組織、動脈系、腓外神経叢、他臓器への浸潤は見られない。</paragraph>
<paragraph>足側方向(#11,13,15,17)で、腓周囲脂肪組織の剥離面に腫瘍が近接しており、</paragraph>
<paragraph>#17では腫瘍が剥離面に一部達しており、腓周囲剥離面陽性と判断される。</paragraph>
<paragraph>今回の腓切除断端の主腓管周囲に腫瘍浸潤があるが、真の腓断端は術中迅速で</paragraph>
<paragraph>陰性とされており、腓切離端は陰性と考える。</paragraph>
<paragraph>脾臓にはうっ血が見られるが腫瘍性病変、悪性所見は見られない。</paragraph>
</text>
</section>

```

#### (5) XML 記述サンプル (細胞診編)

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.90"/>
  <code code="22635-7" displayName="Pathology report microscopic observation"
    codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
  <title>顕微鏡所見</title>
  <text>
    <paragraph>①② 出血性背景にリンパ球や好中球などの炎症細胞を多くみとめる。</paragraph>
    <paragraph>③④ リンパ球や好中球などの炎症細胞のみみられ、甲状腺上皮をみとめない。</paragraph>
    <paragraph>⑤⑥ 平面的な集塊～散在性に細胞がみられ、多くの核はすりガラス状を示し、</paragraph>
    <paragraph>核溝がみられる。核内細胞質封入体も多くみられ、乳頭癌として矛盾しない</paragraph>
    <paragraph>像である。</paragraph>
    <paragraph>⑦⑧ 出血性背景にリンパ球等の炎症細胞、甲状腺上皮を少数みとめる。</paragraph>
    <paragraph>採取細胞量は少ないが、核溝、核内細胞質封入体が確認でき、乳頭癌</paragraph>
    <paragraph>として矛盾しない像である。</paragraph>
  </text>
</section>

```

## 4.2.18. 診断 Diagnosis

### (1) 概要

病理診断結果を記載する。

### (2) 説明ブロック仕様

表 4-17 診断 説明ブロック XML 仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.91"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.91	テンプレート ID
code	1..1		
@code	R	22637-3	セクションコード
@displayName	R	Pathology report diagnosis	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示す OID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	診断	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

### (3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

### (4) XML 記述サンプル (組織診断)

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.91"/>
  <code code="22637-3" displayName="Pathology report diagnosis"
    codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
  <title>診断</title>
  <text>
    <paragraph># Pancreatic cancer, pancreas, distal pancreatectomy.</paragraph>
    <paragraph>- P<sub>0</sub>, infiltrative type, pT<sub>2</sub>(2.5cm)</paragraph>
    <paragraph>- invasive ductal carcinoma, tubular adenocarcinoma, </paragraph>
    <paragraph>moderately to well differentiated type (tub<sub>2</sub>>tub<sub>1</sub></paragraph>
    <paragraph>- pT<sub>3</sub>, int, INF<sub>β</sub></paragraph>
    <paragraph>- mpd(-), pCHX, pDUX, pS(-), pRP(+), pPV(-) (下腸間膜静脈浸潤が</paragraph>
    <paragraph>みられるが規約上の門脈系には相当しない) , pA(-), pPL(-), pO<sub>0</sub>(-) </paragraph>
    <paragraph>- ly<sub>1</sub>, v<sub>2</sub>, ne<sub>2</sub></paragraph>
    <paragraph>- pPCM(-), pDPM(+)</paragraph>
    <paragraph>- pT<sub>3</sub>pN<sub>1</sub>cM<sub>0</sub> stage III (膵癌取り扱い規約第X版) </paragraph>
    <paragraph>- pT<sub>3</sub>pN<sub>1</sub>cM<sub>0</sub> stage III(UICC Xth)</paragraph>
  </text>
</section>
```

```

<paragraph># Colon cancer, cecum, ileocecal resection.</paragraph>
<paragraph>- C, type O-Isp, 2.5x1.0cm.</paragraph>
<paragraph>- tub1, pT1b(SM), INFb, int.</paragraph>
<paragraph>- tumor budding; Grade 1,</paragraph>
<paragraph>- ly0(D2-40), v0(EVG), PN0,</paragraph>
<paragraph>- EX(-)</paragraph>
<paragraph>- pPM0(2.5cm), pDM0(8.5cm), pRM0(0.8cm),</paragraph>
<paragraph>- lymph nodes; pN0(0/23) [#201(0/12), #202(0/11)]</paragraph>
<paragraph>- pT1b(SM)pN0pM0 stage I (大腸がん取扱い規約第X版) </paragraph>
<paragraph>- pT1pN0pM0 stage I (UICC Xth)</paragraph>
<paragraph># Tubular adenoma, low grade, ascending colon, ileocecal resection.</paragraph>
<paragraph># Chronic cholecystitis, gallbladder, cholecystectomy.</paragraph>
<paragraph># No remarkable change, spleen, splenectomy.</paragraph>
</text>
</section>

```

## (5) XML 記述サンプル (細胞診編)

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.91"/>
  <code code="22637-3" displayName="Pathology report diagnosis"
    codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
  <title>診断</title>
  <text>
    <paragraph>判定： 悪性</paragraph>
    <paragraph>推定病変： Papillary carcinoma</paragraph>
  </text>
</section>

```

## 4.2.19. 採取法／検体処理法 Procedure Step

## (1) 概要

実施した追加染色、等の検体に対して行った処置を記載する。

## (2) 説明ブロック仕様

表 4-18 採取法／検体処理法 説明ブロック XML 仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.92"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.92	テンプレート ID 値
code	1..1		
@code	R	46059-2	セクションコード値
@displayName	R	Special treatments and procedures section	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示す OID
@codeSystemName	0	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	採取法／検体処理法	セクションタイトルを示す文字列
text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

## (3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

## (4) XML 記述サンプル (組織診編)

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.92"/>
  <code code="10157-6" displayName="Special treatments and procedures section"
    codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
  <title>採取法／検体処理法</title>
  <text>
    <paragraph>大腸          ブロックNo.10      D2-40</paragraph>
    <paragraph>大腸          ブロックNo.11      EVG</paragraph>
  </text>
</section>
```



## 付録 - 1. 作成者名簿

作成者（社名五十音順）

田中 利彦	オリンパス(株)
近藤 恵美	サクラファインテックジャパン(株)
鈴木 昭俊	(株)ニコン
上條 憲一	日本電気(株)
山下 慶子	日本電気(株)
山本 裕	横河医療ソリューションズ(株)

## 改訂履歴

改定履歴		
日付	バージョン	内容
2015/12	Ver. 1.0	初版

(JAHIS標準 15-006)

2015年12月発行

JAHIS 病理診断レポート構造化記述規約 Ver. 1.0

発行元 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会  
〒105-0004 東京都港区新橋2丁目5番5号  
(新橋2丁目MTビル5階)

電話 03-3506-8010 FAX 03-3506-8070

(無断複写・転載を禁ず)